

# 国際学部創設10周年にあたって

国際学部長  
矢野 光\*

1997年4月に創設された国際学部（国際協力量科）も、はや10年の歳月を経過した。『敬愛大学国際研究』は、敬愛大学国際学会の紀要として学部創設と同時に発刊が企画され、98年3月には第1号が創刊された。現在は18号であり、創刊以来間断無く刊行されたことは、誠に関係者として、喜ばしい限りである。その間、歴代の編集に携わって下さった方々、及び積極的に寄稿された教員の方々には、そのご苦勞に対して改めて感謝の意を表したい。

国際学部は複合学部として、学問の領域は国際学、国際協力量を筆頭として他分野にわたる。したがって諸種の研究テーマが掲載され、読者のなかには戸惑いを感じられる方もおられることであろう。しかしテーマは異なっても、各論文（含む、研究ノート、翻訳、資料、史料等々）を共通に貫く問題意識・発想の原点は、国際協力と異文化理解である。これがまさに国際学部国際協力量科創設の精神なのである。これは、将来にも引き継がれていくことと思う。

---

\* やの・あきら Akira YANO: Dean, Faculty of International Studies.

現在『敬愛大学国際研究』は、敬愛大学国際学部のインターネットのホームページで閲覧可能となっている。これが世の中で幅広く利用されれば、原稿執筆者、編集関係者としては至上の幸せである。是非ご自分の研究テーマに関係ある論文をご一読頂きたい。

敬愛大学国際学部創設に際しては、大変なご苦勞があったと聞き及んでいる。不幸にして体調を崩され、他界された先生もおられる。だが、それらの先生のおかげをもって、10周年を迎えることが出来た。この『10周年記念号』は逝去された先生方への‘REQUIEM’でもある。